

# デザインの練習における生成 AI の活用

## Utilizing generative AI in design practice

須崎陽大  
指導教員 川崎紀弘

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 伝わるデザイン研究室

AI に指示を出して生成するという形態は発注業務に近い、その特性を様々なクリエイターへの発注を行うデザイン業務の練習に活用できないか考察する。

キーワード：生成 AI, デザイン練習, ドリル練習, クライアントワーク

### 1. 研究目的

グラフィックデザインの制作は、クライアントワークが多い。よって、まず課題があり、それを踏まえ、文字や図の他にイラストや写真などの様々な素材を組み合わせて総合的にレイアウトされる。そのため、あらかじめ用意された予算に応じて、モデル、カメラマン、イラストレーター、など様々な業種への発注を経て行う。一方デザインを練習する場合、予算が限られるので、身近な人に頼む程度のレベルでしか発注ができないことから、撮影を行ったり、イラストを描いたりして全てを自分で行わなければいけないことも多い。それによって、一回の練習に多くの時間がかかってしまう。さらにお題を考える、素材を作る、というような発注フェーズにぶつかってしまい、レイアウトやルール作りというデザインのフェーズの練習に入れない場合が多いと感じている。もちろんそのような発注フェーズを自分の力で乗り越える強さを身につける練習も大事だと思う。だが、たくさん回数をこなし体に覚え込ませるドリルのような練習が難しくなっている現状は一つのジレンマであると感じた。そんな中、指示を出すと素材を作成したり、お題を作成することが可能な生成系 AI が台頭してきた。そこで、この技術を活用し、回数をこなすことに特化した練習法、デザインにおけるドリル練習的なワークを模索したいと考えた。

### 2. 調査内容

#### 1. 既存の生成 AI

現在、生成 AI はたくさん存在しており、文章生成では ChatGPT、gemini、copilot、画像生成では stableDiffusion、Midjourney、Adobe Firefly 等が代表的だ。それぞれのツールを使用したところ、日本語だと認識しにくい言葉があり、細かい特性の違いもあるが、基本的には全て一定のクオリティは担保されているという印象を持った。

#### 2. 先行事例

デザインにおけるドリル練習を提案している先行事例として、書籍では、テキスト、題材、素材、完成見本が用意されている『デザインのドリル』(1),(2)というものがある。さらに、web デザインのブログで Web サイトのトレース練習を推奨する記事(3)がある。他には、web デザイナーのムラマツヒデキの youtube チャンネルで同様にデザイントレースを推奨している動画(4)がある。また、それらの練習法における素材の扱いについては三者三様で、(1),(2)では素材が元々用意されている。

(3)では装飾を中心に練習するため素材を探す時間を短縮して、トレース元の素材を切り抜いて使う。(4)でムラマツヒデキは自分で撮影、探すことを推奨している。どういうシーンの、どういう写真を使うと全体のデザインとしてよく見えるかまで考えることが大事だと述べている。移すというよりもアイデアを盗んで再構成する練習とも言っている。元々用意されている素材を使用すれば時間はかからないが、それぞれの方法にメリットデメリットがあるということを再認識した。

### 3. コンセプトおよびアイデア展開

ここまで踏まえて、画像生成 AI はプロンプトによる指示を自分で出して画像を生成するため、ムラマツヒデキの言う、どのシーンのどの写真かまで考えることができる。かつ、一から作らなくていいので時間短縮にもなる。このことから、選考事例で挙げたやり方のそれぞれのメリットデメリットの中間をとったような手段として使うことができる。なので、先行事例のトレース法をベースにしながらか、生成 AI を活用することで新たなフレームワークの一つになると考えた。これを方法 1 とする。もう一つ、文章生成 AI を使えば、お題、コピーなども生成できるので、架空のクライアントワークを全て生成 AI で作成するというやり方も考えた。これを方法 2 とする。これら二つの練習法から AI を活用したデザイン練習手法を検討する。

### 6. 今後の展開

現時点では方法 2 で、素材とキャッチコピーのバランスがよく、練習課題として扱いやすい良品計画の新卒採用サイト (6) をトレースした、(図 1)、方法 1 では 5 つのポスターを制作した (図 2-6)。今後も同様に制作を続ける。最終的には、制作時間、試行回数、制作から得た感覚を記録し、練習効果を考察したレポートを作成する。このレポートを最終提案物とする。



図 1



図 2

図 3



図 4



図 5



図 6

### 7. 参考文献

- (1) トレース&模写で学ぶ デザインのドリル Power Design Inc.
- (2) トレース&模写で学ぶ デザインのドリル 2 コンセプト編 Power Design Inc.
- (3) 引き出しを増やしてスピードアップ! デザイントレースのやり方【初心者向け】  
<https://liginc.co.jp/585633>
- (4) デザイン力を最速で高める高負荷訓練「トレース訓練」の正しいやり方を経験 15 年が紹介します  
<https://www.youtube.com/watch?v=HMO1AuBZn2A&t=1038s>
- (6) 良品計画|新卒採用  
<https://careers.muji.com/jp/recruit/>